

## 研修カリキュラム(通信課程)

1 職務の理解 ( 6時間 )				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
多様なサービスの理解	2.0 時間	2時間	0時間	<講義内容> 法律の用語からみた「介護」 介護保険制度で提供される介護サービス
介護職の仕事内容や働く現場の理解	4.0 時間	4時間	0時間	<講義内容> 働く側から見た「介護の仕事」 利用者の立場から見た介護サービスの状況 介護の資格とキャリアシステム
合計	6.0	6.0	0	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ( 9時間 )				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
人権と尊厳を支える介護	4.5 時間	1.0 時間	3.5 時間	<講義内容> 人権と尊厳の保持 QOLの考え方 ノーマライゼーション 虐待防止・身体拘束禁止 個人の権利を守る制度の概要
自立に向けた介護	4.5 時間	1.0 時間	3.5 時間	<講義内容> 自立支援 介護予防 介護予防の視点 介護予防施策 二次予防事業 地域全体で取り組む必要性
合計	9.0	2.0	7.0	

3 介護の基本（ 6時間 ）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護の役割、専門性と多職種との連携	1.5 時間	1時間	0.5 時間	<講義内容> 介護環境の特徴と理解 介護の専門性 介護に関わる職種
介護職の職業倫理	1.5 時間	1時間	0.5 時間	<講義内容> 職業倫理 倫理観の必要性 倫理綱領 事例紹介
介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5 時間	1時間	0.5 時間	<講義及び演習内容> 介護労働における安全の確保 感染対策
介護職の安全	1.5 時間	1時間	0.5 時間	<講義及び演習内容> 介護職員のこころの健康管理 介護職員のからだの健康管理
合計	6.0	4.0	2.0	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 9時間 ）

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護保険制度	3.0 時間	1.0 時間	2.0 時間	<講義内容> 介護保険制度創設の背景と目的 介護保険制度の動向 保険システム、要介護認定、ケアマネジメント 介護報酬、財源、組織 介護サービスの分類と種類
医療との連携とリハビリテーション	3.0 時間	1.0 時間	2.0 時間	<講義及び演習内容> 介護における医療と福祉の連携 介護職と医行為 リハビリテーション
障害者総合支援制度及びその他の制度	3.0 時間	1.0 時間	2.0 時間	<講義内容> 障害者自立支援制度の背景 障害者自立支援制度の基本的な構造 しくみと運営の現状 生活保護制度 成年後見制度 日常生活自立支援事業 虐待防止制度
合計	9.0	3.0	6.0	

5 介護におけるコミュニケーション技術（ 6時間 ）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護におけるコミュニケーション	3.0 時間	1.5 時間	1.5 時間	<講義及び演習内容> 介護におけるコミュニケーションの意義、目的 コミュニケーションの技法 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況に応じたコミュニケーションの実際
介護におけるチームのコミュニケーション	3.0 時間	1.5 時間	1.5 時間	<講義及び演習内容> 記録による情報の共有化 介護サービスにおける報告、連絡、相談 コミュニケーションを促す環境
合計	6.0	3.0	3.0	
6 老化の理解（ 6時間 ）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
老化に伴うこころとからだの変化と日常	3.0 時間	1.5 時間	1.5 時間	<講義及び演習内容> 老化のメカニズム、寿命、老化の特徴 観察ポイント、知的能力の老化と特徴 老化による日常生活への影響 身体的な老化と日常
高齢者と健康	3.0 時間	1.5 時間	1.5 時間	<講義及び演習内容> 老人病、成人病、生活習慣病 代表的な死因と生活習慣病 老化に伴う疾患 代表的な生活習慣病
合計	6.0	3.0	3.0	

7 認知症の理解 ( 6時間 )				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
認知症を取り巻く状況	1. 5 時間	0. 7 5時間	0. 7 5時間	<講義及び演習内容> 認知症ケアの理念 「生活者」としての理解 利用者その人が生活の主人公 利用者本人の「感情面」や「思い」をみていく
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1. 5 時間	0. 7 5時間	0. 7 5時間	<講義及び演習内容> 認知症とは 認知症に似た状態 認知症の診断、評価スケールについて 認知症の主な原因となる疾患
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1. 5 時間	0. 7 5時間	0. 7 5時間	<講義及び演習内容> 中核症状 周辺症状 認知症利用者への対応
家族への支援	1. 5 時間	0. 7 5時間	0. 7 5時間	<講義及び演習内容> 家族への支援、家族のレスパイト エンパワーメント
合計	6. 0	3. 0	3. 0	
8 障害の理解 ( 3時間 )				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
障害の基礎的理解	1. 0 時間	1. 0 時間	0時間	<講義内容> 障害の概念、I C Fの考え方 障害者福祉の基本理念
障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1. 0 時間	1. 0 時間	0時間	<講義及び演習内容> 視覚障害・聴覚・平衡機能障害 音声・言語・咀嚼機能障害・ 肢体不自由 内部障害・知的障害・精神障害・障害の受容
家族の心理、かかわり支援の理解	1. 0 時間	1. 0 時間	0時間	<講義及び演習内容> 家族の心理 家族への支援
合計	3. 0	3. 0	0	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（ 75時間 ）

	項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	介護の基本的な考え方	4.0 時間	1.0 時間	3.0 時間	<講義及び演習内容> 介護に関する専門的知識・技術の必要性 個別支援の重要性 法律上の規定や考え方 生活の質（QOL）の重要性
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.0 時間	1.0 時間	2.0 時間	<講義及び演習内容> 学習と記憶の基礎知識 感情と意欲の基礎知識 自己概念と生きがい 適応行動とその阻害要因
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.0 時間	1.0 時間	2.0 時間	<講義及び演習内容> 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 骨・関節・筋に関する基礎知識 中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識 自律神経と内部器官に関する基礎知識 こころとからだを一体的にとらえる
生活支援技術の講義・演習	生活と家事	9.0 時間	7.0 時間	2.0 時間	<講義及び演習内容> 家事と生活の理解 家事援助に関する基礎的知識と生活支援
	快適な居住環境整備と介護	6.0 時間	3.0 時間	3.0 時間	<講義及び演習内容> 快適な居住環境に関する基礎知識 環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 事例検討
	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7.0 時間	7.0 時間	0時間	<講義内容> 整容に関する基礎知識  <演習内容> 衣服の着脱（片麻痺、ベッド上） 口腔ケア、化粧、爪切り
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7.0 時間	7.0 時間	0時間	<講義内容> ボディメカニクスの原理 廃用症候群の知識  <演習内容> 体位の種類、用具の種類 体位変換、車椅子の介助、移乗介助の実際 歩行介助

	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7.0 時間	7.0 時間	0時間	<講義内容> 食事の意義と目的、栄養素とその働き、安全性 高齢者の食事、 <演習内容> 食事介助の技法、誤嚥予防の実際
	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6.0 時間	6.0 時間	0時間	<講義内容> 入浴・清潔を保つことの意義 皮膚の構造と知識、入浴補助用具、  <演習内容> 入浴介助のポイント、部分浴、清拭、整容の実際
	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7.0 時間	7.0 時間	0時間	<講義内容> 排泄が及ぼす3つの側面 排泄介護の基本点と尊厳 排泄環境整備、排尿障害の知識 <演習内容> 排泄介護の実際、陰部洗浄の手順と実際
	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	1.0 時間	1.0 時間	0時間	<講義内容> 睡眠に関する基礎知識 睡眠障害時の介助と援助方法 寝室の環境 睡眠阻害要因 <演習内容> 福祉用具の活用
	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	5.0 時間	5.0 時間	0時間	<講義内容> 死生観について、終末期ケアとは 死にいたるプロセス、高齢者の心理 看取りにおける介護職員の基本的態度 看取りにおける倫理観、 <演習内容> 苦痛のない死への支援、遺族へのグリーフケア
生活支援技術演習	介護課程の基礎的理解	0.5 時間	0.5 時間	0時間	<講義内容> 介護課程の展開、介護課程の基礎的理解 介護課程の必要性 <演習内容> 介護課程の流れ
	総合生活支援技術演習	9.5 時間	9.5 時間	0時間	<講義内容> 場面における介護のポイント、考察 <演習内容> 事例を用いた演習
実習		0時間			
	合計	75時間			

10 振り返り（ 4時間 ）			
項目名	時間数	(うち 実習時 間数)	講義内容及び演習の実施方法
振り返り	2.0 時間	1.0 時間	<講義及び演習内容> 今後の継続的課題の整理 重要事項の整理 利用者の自立を支援する介護のあり方 利用者の状態像に応じた介護と介護課程について チームアプローチの重要性について <実習> 施設見学
就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2.0 時間	0時間	<演習内容> 今後の継続的課題に対する個別検討作業 形態別及びサービス種別ごとの事例紹介と検討
合計	4.0		
全カリキュラム合計時間	130時間		